

平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	2,075	△0.5	△51	—	△45	—	△35	—
24年11月期第3四半期	2,087	3.7	△3	—	4	△78.5	△26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年11月期第3四半期	△12.43	—
24年11月期第3四半期	△9.27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年11月期第3四半期	7,590	6,626	87.3	2,350.12
24年11月期	7,623	6,695	87.8	2,374.43

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 6,626百万円 24年11月期 6,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年11月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,929	4.5	23	—	29	763.7	10	—	3.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年11月期3Q	3,339,995 株	24年11月期	3,339,995 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年11月期3Q	520,166 株	24年11月期	520,091 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期3Q	2,819,862 株	24年11月期3Q	2,819,904 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)における日本経済は、長引く欧州の金融不安が依然続いていることや、中国をはじめとする新興国経済の減速などにより、先行きが不透明な状態が続いております。

また、国内におきましては政権交代後の金融緩和策等による円高の是正、株価の上昇などの景気好転の兆しがみられました。しかしながら、個人所得の向上や消費マインドの回復までには至っておらず、経営環境も依然厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく営業活動を行ってまいりましたが全般的に販売が苦戦し、その結果、当第3四半期累計期間の売上高は20億75百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

また、売上高減少に伴い、一部在庫品の値下げ販売を行ったことなどにより、売上総利益が減少したのに加え、アウトドア事業の直営店出店により、人件費や減価償却費などの販売費及び一般管理費が増加いたしました。その結果、営業損失は51百万円(前年同期間 営業損失3百万円)、経常損失は45百万円(前年同期間 経常利益4百万円)となりました。なお、法人税等調整額△21百万円などの影響を受け、四半期純損失は35百万円(前年同期間 四半期純損失26百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、年初の寒波による悪天候の影響を受けることとなり、昨年を下回りました。フライ(毛鉤)用品の販売は新製品の投入効果により、比較的堅調に推移いたしました。春以降もルアー用品の販売が苦戦し、その結果、フィッシング事業の売上高は7億81百万円(前年同期比8.4%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は1億5百万円(前年同期比35.2%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、防寒衣料の動きが昨年と較べ鈍いスタートとなりました。3月以降、春夏物衣料に動きが出始めましたが、世界文化遺産登録により期待された夏の富士登山への需要の高まりがあまりみられない結果となりました。

その結果、アウトドア事業の売上高は新店舗の出店等により、12億84百万円(前年同期比4.7%増)となりましたが、前記の販管費増加の影響を受け、セグメント利益(営業利益)は34百万円(前年同期比33.1%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期累計期間に関しては、不動産賃貸収入の増加により、その他売上高は10百万円(前年同期比25.0%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ32百万円減少し75億90百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少2億39百万円の一方、季節的な影響による商品及び製品の増加3億4百万円や有価証券の投資有価証券からの振替えによる増加2億円などの影響により、前事業年度末に比べ1億91百万円増加し、43億47百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券2億円が短期の有価証券に振替えられたことなどにより、前事業年度末に比べ2億23百万円減少し、32億43百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ36百万円増加し9億63百万円となりました。

流動負債は、仕入が集中する季節的な影響により、支払手形及び買掛金が64百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ34百万円増加し、7億45百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末とほぼ同額の2億17百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ68百万円減少し、66億26百万円となりました。これは主に、四半期純損失35百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出42百万円などによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年7月3日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年12月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,481,239	1,241,654
受取手形及び売掛金	523,918	525,947
有価証券	1,114,010	1,214,273
商品及び製品	965,416	1,270,405
その他	72,954	96,727
貸倒引当金	△1,572	△1,578
流動資産合計	4,155,967	4,347,431
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	792,144	764,028
土地	2,011,097	2,011,097
その他（純額）	24,182	20,172
有形固定資産合計	2,827,424	2,795,298
無形固定資産	32,154	24,890
投資その他の資産	607,512	423,024
固定資産合計	3,467,091	3,243,214
資産合計	7,623,059	7,590,645
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	546,229	610,377
未払法人税等	19,549	13,444
返品調整引当金	19,523	11,929
店舗閉鎖損失引当金	—	233
賞与引当金	—	9,527
その他	125,738	100,459
流動負債合計	711,040	745,972
固定負債		
退職給付引当金	134,265	135,016
役員退職慰労引当金	57,459	—
その他	24,626	82,718
固定負債合計	216,351	217,734
負債合計	927,392	963,707

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,047,923	1,970,567
自己株式	△290,211	△290,253
株主資本合計	6,699,159	6,621,760
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,493	5,177
評価・換算差額等合計	△3,493	5,177
純資産合計	6,695,666	6,626,937
負債純資産合計	7,623,059	7,590,645

（2）四半期損益計算書
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成23年12月1日 至平成24年8月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成24年12月1日 至平成25年8月31日）
売上高	2,087,098	2,075,711
売上原価	1,098,409	1,119,335
売上総利益	988,689	956,375
返品調整引当金戻入額	19,311	19,523
返品調整引当金繰入額	11,959	11,929
差引売上総利益	996,041	963,969
販売費及び一般管理費	999,761	1,015,051
営業損失（△）	△3,720	△51,081
営業外収益		
受取利息	3,799	3,299
受取配当金	495	543
為替差益	2,567	1,321
その他	1,040	642
営業外収益合計	7,903	5,807
営業外費用		
支払利息	69	81
その他	81	10
営業外費用合計	151	91
経常利益又は経常損失（△）	4,031	△45,365
特別利益		
保険差益	—	408
特別利益合計	—	408
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	233
固定資産除却損	1,094	754
特別損失合計	1,094	988
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	2,936	△45,945
法人税、住民税及び事業税	9,662	10,530
法人税等調整額	19,411	△21,417
法人税等合計	29,074	△10,887
四半期純損失（△）	△26,137	△35,058

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	852,830	1,226,022	2,078,853	8,245	—	2,087,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	852,830	1,226,022	2,078,853	8,245	—	2,087,098
セグメント利益又は損失(△)	162,958	52,226	215,184	5,814	△224,719	△3,720

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△224,719千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	781,158	1,284,242	2,065,401	10,309	—	2,075,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	781,158	1,284,242	2,065,401	10,309	—	2,075,711
セグメント利益又は損失(△)	105,569	34,944	140,514	6,106	△197,702	△51,081

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△197,702千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。